

1 から 6 までの目が等しい確率で出るさいころを 4 回投げる試行を考える。

(1) 出る目の最小値が 1 である確率を求めよ。

(2) 出る目の最小値が 1 で、かつ最大値が 6 である確率を求めよ。

(北海道大)